	項	ぶどう試作品種「サニールージュ」の省力的な指	M1-7-7-7					
ね	\$ k1	サニールージュでは、摘粒しないと過密着により裂果が発生する。大粒種に準じた摘料 方法(従来法)では多くの作業時間を要するが、作業時間を短縮できる省力的な摘粒方法 が明らかになったので参考に供する。						
	0.00	5.61 8.7 968 71.9 82.0 81	w bin #a: #a					
	ш-	1 摘粒方法						
	指.	果粒が大豆粒大の頃、以下の方法で摘粒する。	8 810 FO SLY - SA					
	導	摘粒方法	特 徵					
	参	縦方向に2筋摘粒し、房の上部1/3の部分を横方向に1周摘粒する	摘粒時間は従来法の半分で済む。					
	考	を預力回に1戸摘在する	表2 規制機(における関地は集の)					
	内	(注) 花穂の整形は岐肩のみ除去する						
	8010							
	容	FOR THE ONLY	20 C 42 20 (10 A) 1 (10 A)					
	D1 0	38.3						
	12 1							
	1,02							
	6.45 A							
	(M) A							
	634 - A 20 - H 161 - O							
	04 0 06.0 16.0 16.0							
	16.0	8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1 8 1	省力的な摘粒法と収穫時の果房					
	0.81	2212 6 4 18, a 16, 4 16,	TOTAL CONTRACTOR OF THE STATE O					
	16.0	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の省 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角						
	0, 81 0, 74 0, 57 0, 48 0, 48 0, 48	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の名 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒	HOLDER CONTROL OF THE STATE OF					
	0, 81 0, 74 0, 57 0, 46 0, 46 0, 46 d an	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の社 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒	第1人名 - 中で   中で   中で   中で   中で   中で   中で   中で					
	0, 61 0, 74 0, 5 0, 45 0, 45 0, 11 0, 11 0, 10	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の名 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒	第1人名   1世日   1世日   1年日					
	0, 81 0, 74 0, 57 0, 46 0, 46 0, 46 d an	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の社 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒	第					
<b>期</b> 待	0, 61 0, 74 0, 5 0, 45 0, 45 0, 11 0, 11 0, 10	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の名 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒	第					
	される効果	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の名 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒	第 20 V C 2 V C 2 P					
別用	0, 61 0, 71 0, 15 0, 45 0, 46 0, 11 0, 11 0, 12 0, 12	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の名 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒 摘粒作業の効率化が図られる	第					
	される効果上の注意事項	図・写真 ぶどう新品種「サニールージュ」の名 (注) 1 実線は摘粒方向であり、縦2筋、横1角 2 黒く塗りつぶした粒を摘粒 摘粒作業の効率化が図られる	第一日本の 1978 日本 1978 日					

## 【根拠となった主要な試験結果】

## 表1 種々の摘粒法と裂果割合及び作業性

(平成15年 青森農林総研りんご試)

摘粒方法	裂果割合 (%)	1房当たり 摘 粒 数 (粒)	摘粒割合 (%)	1房当たり 摘粒時間 (秒)	1 粒当たり 摘 粒 時 間 (秒)
縦方向、横方向摘粒(縦2筋、横1周)	0.7	19. 0	27.0	28.7	1.5
縦方向に2筋摘粒	10.3	12. 3	20.4	18.3	1.5
横方向に1周摘粒(果房上部1/3)	6.0	9. 3	15. 1	13.2	1.4
大粒種に準じた摘粒(従来法)	0.5	18. 7	25.4	55. 1	3.0 .
摘粒なし	27.6	-	er ex 1 <u>17</u> . Versa Ser		1: -

- (注) 1 摘粒時期は大豆粒大の頃(7月6日)とした
  - 2 裂果割合は収穫時の房について調査した

## 表2 種々の摘粒法と果実品質

(平成15年 青森農林総研りんご試)

摘粒方法	果房重 (g)	1 粒重 (g)	糖 度 (%)	酸 度 (%)
縦方向、横方向摘粒(縦2筋、横1周) 縦方向、横方向摘粒(縦2筋、横1周)	396	8.6	16. 0	0.81
縦方向に2筋摘粒	375	8.6	16. 2	0.78
横方向に1周摘粒(果房上部1/3)	405	8.3	16. 2	0.81
大粒種に準じた摘粒(従来法)	410	7.9	16. 1	0.87
摘粒なし	354	7.7	16.3	0.82

(注) 糖度は屈折計示度、酸度は酒石酸換算